本号が発行される頃，東日本大震災の発生から2年を迎えます。本号の特集では，地震に関する最近の研究成果を紹介しましたが，改めて震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに，被災された皆様にお見舞い申し上げます。

震災に伴う原子力発電所の事故に関しては，「安全神話」の弊害が多く論じられています。安全を確保する上で，あらゆる可能性に考えを巡らせる姿勢は極めて重要でありましょう。以前に，危機管理分野の第一人者の方の講演を聴講する機会がありました。その中で印象に残った言葉に，危機管理担当者の心構えとして「悲観的に準備し，楽観的に対処せよ」というものがありました。常に最悪の事態を想定して準備し，いざという時は動揺せずに行動するという意味だと理解しましたが，この前段の部分はそれに通じるものと思います。私も，身の回りでの事故防止については，危険の種に対する想像力をたくましくすることと，無精をしないことの二つを常々心掛けています。

次号の特集はまさに「安全性評価・安全管理」です。ハードウェア，ソフトウェア，ヒューマンファクターなど様々な観点からの取り組みをご紹介する予定ですので，ご期待下さい。（A.S.）

■訂正とお詫び

RRR誌2013年2月号44頁の「部外発表（雑誌等）」の20件目に誤植がございました。ここに訂正してお詫び申し上げます。

誤）ラダーマクラギ　鉄道車両と技術　24　1　構造力学　渡辺　　勉　他

正）ラダーマクラギ　鉄道と電気技術　24　1　構造力学　渡辺　　勉